

フォートカニングパークに行ってきました

史蹟史料部歴史研究班

2月22日(土)、日本人学校の先生方に活動いただいている史蹟史料部歴史研究班で、フォートカニングパークツアーブーを行ってきました。日本人会講座でシンガポールレクチャー＆ツアーを開催いただいているシンガポール政府公認ライセンスガイドのリム先生にご案内いただき、フォートカニングの歴史や植物を学ぶ3時間のウォーキングツアーブーでした。

朝9時にフォートカニングセンターに集合し、南十字星2024年3月号の史蹟史料部ニュースレターでご紹介したバトルボックスには入場しませんでしたが、ホテルフォートカニングをはじめ、それぞれの建物の歴史を学びました。ホテルフォートカニングは第二次世界大戦の時代に旧英國極東軍司令部として建設され、1970代にはシンガポール指揮幕僚大学が使用していました。



サリーポート
(要塞の出擊口)



ホテルフォートカニング
(旧英國極東軍司令部)

パーク内にはバトルボックスの隠し出入口を見ることができます(現在はそこから出入りすることはできません)。



バトルボックスの隠し出入口



また随所にフォート(砦)の名残が残されています。植物が絡まった壁はかつての砦の石垣であり、トンネルのように見えるフォートゲートは、上から敵を迎撃つために建てられたものでした。



砦の石垣



フォートゲート

フォートゲートには敵の攻撃を防ぐための二重扉があります。石化した重厚な扉は大人の男性でも一人ではなかなか動かすことができず、いったん閉めると容易には開かないことがわかります。また扉を開いた時に隠れる場所には階段がありますので、ぜひゲートの上に登ってみてください。大人一人がやっと通れる細い階段は、敵が一人ずつしか上って来られないように造られており、屋上の壁には敵を銃で迎撃するための穴が開いているのが確認できます。



重い扉を動かすチャンギ校内野先生



扉の後ろにある階段で屋上に登ることができます



屋上へ続く狭い階段



屋上にある階段の出入り口



敵を迎撃するための壁の穴

フォートカニングセンター近くには9ポンド砲のレプリカが置かれています。これは敵を迎撃つ他に、人々が時計を持っていなかった時代には時報として使われていたそうです。また同様にラッフルズガーデンにあるタイムボールも高台から人々に時を知らせる仕掛けであり、たくさんの国際信号旗が掲げられた旗竿はシンガポールに入港する船の身元、位置と状況などの適切な情報を提供する目印でした。フォートカニング灯台はマラッカ海峡を渡る船には重要な灯台の1つでした。



9ポンド砲



タイムボール



旗竿



灯台

現在のフォートカニングパークは背の高い樹木が育っているため、ポートキーからフォートカニングを見上げてもタイムボールや旗竿、灯台は見えませんが、1800～1900年代には木がなく、それらがよく見えたようです。



ポートキーから見たフォートカニング
(出典:National Archives of Singapore)

ゴシックゲートから広がるフォートカニンググリーンは、現在はバレエの公演や映画、コンサート会場として使用される芝生の広場ですが、かつてはキリスト教徒が眠るフォートカニング墓地でした。



現在のフォートカニンググリーン
(出典:Fort Canning Park – National Parks Board)

墓石のプレートは現在もフォートカニンググリーンを囲む壁に埋め込まれており、刻まれていた名前を確認することができます。この中の1つに、南十字星2022年8月号でご紹介した、シンガポールに定住した最初の日本人・山本音吉の娘、エミリー・オトソンのプレートがあります。4歳で亡くなったエミリーのプレートは、フォートカニンググリーンからフォートカニングセンターを正面に見て、右側の壁沿いに見つけることができます。



旧フォートカニング墓地
(出典:National Archives of Singapore)



エミリー・オトソンの墓石プレート



緑溢れるフォートカニングパークは、南国らしい色鮮やかな花や木々を見るることができます。地面に伸びた気根が新しい木になるバニヤンツリー（ガジュマル）やヘリテージツリーに指定されているレインツリー、「森の炎」と呼ばれる赤い花を付けるハナモツヤクノキ、シャネルNo.5の香りとして知られるイランイランなど、色や香りを楽しみながら歩きました。



バニヤンツリー



レインツリー



ハナモツヤクノキ



イランイランの花

シンガポール市街地の高層ビル群のすぐそばにあるフォートカニングパークには、自然と史蹟の見どころがたくさんあります。ぜひ皆様もシンガポールの歴史を感じながら散策してみてください。



2024年度史蹟史料部歴史研究班メンバー

編集・画像:日本人会 史蹟史料部 両頭真衣